

平成24年度

国立 熊本高専（八代キャンパス）
編入学生募集要項・入学案内

八代キャンパス（機械電気工学科・土木建築工学科
・生物工学科）編入学試験用



選 抜 の 日 程	出 願 期 間	平成23年 7月11日(月)～ 7月15日(金)
	試 験 実 施 日	平成23年 7月25日(月)
	合 格 発 表	平成23年 8月 2日(火)
	出 校 日	平成24年 3月23日(金)

熊本高等専門学校 八代キャンパス
〒866-8501 熊本県八代市平山新町2627
電話 0965-53-1231 (学務課学生募集室)
<http://www.kumamoto-nct.ac.jp/>

本募集要項は、熊本高専八代キャンパス（旧八代高専の教育課程）の4学科（機械電気工学科、情報電子工学科、土木建築工学科、生物工学科）に基づいて記載していますが、平成24年度は、これらのうち3学科への編入学生に対して適用されるものです。

目 次

学生募集要項

1. 編入学生受入方針（アドミッションポリシー）	1
2. 編入学を実施する学科、募集人員及び編入学年次	1
3. 出願資格	1
4. 出願手続き及び選抜方法等	
(1) 受付期間	2
(2) 受付時間	2
(3) 受付場所	2
(4) 出願手続	2
(5) 選抜の方法	2
(6) 学力検査	3
(7) 学力検査及び面接の日時	3
(8) 学力検査及び面接の実施場所	3
(9) 学力検査当日の注意事項	3
(10) 合格者の発表	3
5. 入学手続	4
6. 編入学生募集要項の請求方法、編入学志願についての照会	4
7. 検定料の返還について	4
8. 個人情報の利用目的	4

入学案内

1. 本校の教育	5
2. 修業年限・学科等	5
3. 卒業要件	5
4. 学科案内	5
5. 専攻科の概要	6
6. 学寮	6
7. 学費の援助制度	6
8. 入学時の諸経費	7
9. 課外活動	7
10. 本校の施設	8
11. 卒業後の進路	8
12. 教育課程（平成23年度現在）	9
13. 日本技術者教育認定機構（JABEE）への取り組み JABEE 対応教育プログラム「生産システム工学専攻」の概要	14

（添付書類用紙等）

- ① 編入学志願票、写真票、受験票
- ② 検定料の振込依頼書
- ③ あて名票

平成24年度 編入学生募集要項

1. 編入学生受入方針（アドミッションポリシー）

- 科学や技術に強い関心を持ち、モノづくりが好きな人
- 科学技術を学ぶに必要な基礎学力が備わっている人
- コミュニケーションの基礎が備わっている人
- 社会への貢献意識を持っている人

2. 編入学を実施する学科、募集人員及び編入学年次

学 科	募 集 人 員	編 入 学 年 次
機 械 電 気 工 学 科	各 学 科 若 干 名	第 4 学 年
土 木 建 築 工 学 科		
生 物 工 学 科		

3. 出願資格

- (1) 高等学校を卒業した者又は平成24年3月卒業見込みの者
- (2) 中等教育学校を卒業した者又は平成24年3月卒業見込みの者

4. 出願手続き及び選抜方法等

(1) 受付期間

平成23年7月11日(月)から平成23年7月15日(金)まで

(2) 受付時間

午前8時30分から午後5時00分までです。

(3) 受付場所

熊本高等専門学校八代キャンパス 学務課 学生募集室

(〒866-8501 熊本県八代市平山新町2627)

(4) 出願手続

志願者は、下記書類等を整え、持参又は郵送してください。

郵送する場合は書留郵便とし、封筒表面に「編入学願書在中」と朱書してください。

書類等	摘要
①編入学志願票	本校所定の用紙に、必要事項を本人が記入してください。
②写真票 受験票	本校所定の用紙に、必要事項を本人が記入し写真を所定の位置に貼付してください。写真は正面脱帽上半身（タテ40mm×ヨコ30mm）で3カ月以内に撮影したものを使用してください。
③検定料	16,500円（添付の振込依頼書により銀行の受付窓口【ATM（現金自動預払機）は使用しないでください。】で振り込みを行い、受領した振込金受取書を入学志願票の裏面に貼付してください。）
④あて名票	現住所・郵便番号・氏名等を記入してください。受験票送付用には350円切手を貼付してください。
⑤調査書	在籍（出身）学校所定の用紙を使用して、在籍（出身）学校長が作成、厳封したものを提出してください。

※ 出願上の注意

- ① 出願書類等に不備があるものは、受理しません。
- ② 提出した出願書類等の記載事項の変更は、認めません。
- ③ 受理した出願書類及び検定料は、返還しません。ただし、「7. 検定料の返還について」で示す場合を除きます。
- ④ 提出した出願書類等に虚偽の記載があった場合は、入学後でも入学許可を取り消すことがあります。

(5) 選抜の方法

編入学者の選抜は、学力検査の成績、及び面接の総合判定により行います。

(6) 学力検査

学力検査は筆記試験とし、検査教科・科目は下表のとおりです。

志望学科	教科 (配点)	科 目
機械電気工学科	英 語 (100点)	英語 I 及び英語 II
	数 学 (100点)	数学 I 及び数学 II
	専 門 (100点)	工業数理基礎、機械設計、機械工作
土木建築工学科	英 語 (100点)	英語 I 及び英語 II
	数 学 (100点)	数学 I 及び数学 II
	専 門 (100点)	構造力学 (土木基礎力学 1 又は建築構造設計)
生 物 工 学 科	英 語 (100点)	英語 I 及び英語 II
	数 学 (100点)	数学 I 及び数学 II
	専 門 (100点)	(1) 工業化学 1、工業化学 2 (2) 化学 I、化学 II 及び生物 I、生物 II ※(1) 又は (2) のどちらかを選択のこと。

(7) 学力検査及び面接の日時

	数 学	専 門	英 語	面 接
平成 2 3 年 7 月 2 5 日(月)	9:30~10:30 (60分)	10:50~12:30 (100分)	13:15~14:15 (60分)	14:30~

(8) 学力検査及び面接の実施場所

熊本高等専門学校八代キャンパス (熊本県八代市平山新町2627)

(9) 学力検査当日の注意事項

- (1) 学力検査当日は午前 9 時 0 0 分までに本校大会議室 (管理棟 2 階) で受付を済ませ、係員の指示に従ってください。
- (2) 受験票及び筆記用具を持参してください。
検査室には、受験票のほか、筆記用具 (H B 程度の黒鉛筆又はシャープペンシル)、消しゴム、鉛筆削り、時計 (計時機能だけのもの) 以外は携帯できません。
〔携帯電話、電卓、電卓付き時計等は不可〕
- (3) 弁当を持参してください。
- (4) 受験のための宿舍の斡旋はしません。

(10) 合格者の発表

平成 2 3 年 8 月 2 日(火) 午前 1 0 時 0 0 分

本校に合格者の受験番号を掲示するとともに、本人及び学校長に判定結果を文書で通知します。また、合格者の受験番号を本校のホームページにも掲載します。

(熊本高等専門学校のホームページのアドレス <http://www.kumamoto-nct.ac.jp/>)

※電話・F A X 等による合否の照会には一切応じません。

5. 入学手続

合格した人には、平成24年3月初旬に入学案内を送付します。

平成24年3月23日(金)に出校し、入学に要する諸手続を行ってください。この手続きを完了しない人は、入学を許可しません。

6. 編入学生募集要項の請求方法、編入学志願についての照会

- (1) 編入学生募集要項・入学案内は、本校学務課学生募集室で配布しています。下記まで書面又は電話で請求してください。
- (2) 身体等に障害のある入学志願者で、受験上及び修学上特別な配慮を希望する人は、平成23年6月30日(木)までに熊本高等専門学校八代キャンパス学務課学生募集室へ相談してください。
- (3) 編入学志願に関し不明な点があれば、下記まで書面又は電話で照会してください。

熊本高等専門学校 八代キャンパス 学務課 学生募集室

〒866-8501 熊本県八代市平山新町2627

TEL (0965) - 53 - 1231

FAX (0965) - 53 - 1209

7. 検定料の返還について

受理した検定料は返還しません。ただし、次に該当した場合は、払込済の検定料を返還します。

- ア. 検定料を振り込んだが出願しなかった（出願書類を提出しなかった又は出願が受理されなかった）場合
- イ. 検定料を誤って二重に振り込んだ場合

次の方法により、返還の請求を行ってください。

返還請求の理由、志願者氏名（氏名の右側に押印願います）、現住所、連絡電話番号、振込口座〔銀行名、支店名、普通預金の口座番号、口座名義（ふりがなも記入してください）、志願者氏名と口座名義が異なる場合は志願者との続柄〕を明記した検定料返還請求願（様式は問わない）を作成し、必ず、検定料を振り込んだ際の「振込金受取書・振込受付書」を添付して速やかに書留郵便で郵送してください。（封筒には返還請求書在中と朱書すること。）

検定料返還請求願の受理後、検定料の返還には2～3ヶ月程度かかります。

※ 請求先 〒866-8501 熊本県八代市平山新町2627
熊本高等専門学校 八代キャンパス 管理課財務係
電話 0965 - 53 - 1228（直通）

8. 個人情報利用目的

入学志願者から提出された出願書類に記載されている情報及び選抜に用いた試験成績・評価などの入学者選抜を通じて取得した個人情報は、入学者選抜の資料として利用するとともに、次の目的のために利用します。

- (1) 入学後の教育・指導
- (2) 入学料、授業料の免除申請の審査及び奨学金申請の審査
- (3) 本校及び国立高等専門学校全体の教育制度・入学者選抜制度の改善のための調査・研究

入学案内

1. 本校の教育

中学卒業者を5年間の一貫したカリキュラムで教育し、豊かな教養と高度の専門技術とを身につけた技術者を養成する高等教育機関です。

なお、高等学校卒業者に対して、第4学年への編入学を認めています。

2. 修業年限・学科等

学 科	修 業 年 限	学 級 数	入 学 定 員
機 械 電 気 工 学 科	5	1	4 0
情 報 電 子 工 学 科	5	1	4 0
土 木 建 築 工 学 科	5	1	4 0
生 物 工 学 科	5	1	4 0
計			1 6 0

なお、編入学生の修業年限は2年間です。

3. 卒業要件

学則に従い第4学年及び第5学年で67単位以上の修得が卒業要件となっています。

4. 学科案内

○機械電気工学科

モノづくりの基盤となる機械工学を基本としつつ、電気・電子・制御・情報通信等の複合的分野への対応力を視野におき、力学的素養の育成につとめます。また、モノづくりに積極的に取り組める人材育成のため、実習・実験・設計等の総合科目を重視して、技術と人間性を絡めたモノづくりを通じた人づくりをめざします。

○情報電子工学科

情報通信技術の進展に伴い、その技術があらゆる分野に取り込まれていることで、モノづくりや各種システムの技術開発ならびに管理運用に主体的に取り組める技術者を社会は強く要請しています。本学科は、電気・電子・情報・通信等の各工学分野の講義や実験演習を通して、それらの専門基礎技術力を修得させ、複眼的視野をもつ実践的技術者を育成します。

○土木建築工学科

土木建築技術者は、社会資本の整備、都市計画、自然環境の保全、各種建造物の設計・施工・管理など、その活躍の場が多岐にわたっています。本学科は、土木工学と建築学を核として建設に関わる幅広い工学的素養を培うことで、複雑化する社会の諸問題を総合的に判断し、地域社会に貢献できる実践的技術者を育成します。

○生物工学科

本学科は、バイオテクノロジーの基幹となる生物分野と化学分野の基礎知識と基礎技術を確実に修得し、人間社会と自然環境との調和を図りながら、バイオ産業における技術的問題の解決に主体的に取り組むことのできる「生物と化学の双方に通じた実践的バイオ・ケミカル技術者」を育成します。

5. 専攻科の概要

専攻科は、高専5年教育の上に、さらに高度専門技術者を2年間で養成するために設立されました。本科及び専攻科の単位取得と必要手続き等を行うことにより学士の学位が授与されます。

専攻科は、急速に進む科学技術の高度化と国際化に対応するために、高等専門学校で修得した実践的技術をさらに深めた教育を実施するものであって、特定の専門工学領域におけるより高度の知識・教養とともに、複合領域に対応できる幅広い視野を身につけた実践的・創造的技術者を育成することを目的としています。

【熊本キャンパス】電子情報システム工学専攻（定員24名）

本科の教育課程の専門基礎技術を基盤に、急速な技術の高度化・複雑化に対して、柔軟な創造工夫をもって未知なる複合領域の課題にも対応できる国際的視野をもった実践的・高度技術者の養成をめざします。

【八代キャンパス】生産システム工学専攻（定員24名）

本科の教育課程の専門基礎技術を基盤に、イノベーション創成を担うことのできる技術者および地域産業の発展に貢献できる人材の養成をめざします。

（教育プログラムについては、14頁、「1.3. 日本技術者教育認定機構（JABEE）への取り組み JABEE対応教育プログラム「生産システム工学専攻」の概要」参照）

6. 学寮

学寮は経済的負担を軽くするだけでなく教育施設として設置されており、個室で各部屋にベッド、洋服たんす、ロッカー、机、椅子等が備え付けてあります。

なお、入寮を希望する人は選考のうえ許可します。

7. 学費の援助制度

(1) 入学料の免除・徴収猶予

入学前1年以内において、入学する者の学資を主として負担している人が死亡している場合、又は入学する人若しくはその学資を主として負担している者が風水害等の災害を受けている場合など、特別な事情により入学料の納付が著しく困難であると認められる場合、本人の申請に基づき、選考のうえ入学料の全額又は半額が免除される制度及び入学料の徴収を猶予される制度があります。

(2) 授業料の免除

家庭の経済的理由によって授業料の納付が困難であり、かつ学業・人物ともに優秀であると認められる者は、本人の申請に基づき、選考のうえ授業料の全額又は半額が免除される制度があります。

(3) 奨学生制度

① 日本学生支援機構

学業・人物ともに優れ、かつ健康な学生であって、経済的理由により修学に困難がある者で、将来の奨学金返還に対して明確な自覚と強固な責任遂行の意志を持つ者は、選考のうえ独立行政法人日本学生支援機構奨学生として次のように学資の貸与を受けることができます。

奨学金の貸与月額（平成23年度実績）

○第一種（無利子）

自宅通学 45,000円

自宅外通学 51,000円

共通 30,000円

○第二種（有利子）

貸与月額は本人の希望により、3万円、5万円、8万円、10万円及び12万円の中から選ぶことができます。

② その他の奨学制度

地方公共団体、民間団体等による奨学制度があり、奨学生募集等の通知は、掲示により行います。地方公共団体の場合、学校に通知が来ないことがありますので、直接問い合わせてください。

8. 入学時の諸経費（金額は変更になることがあります）

入 学 料 84,600円

授 業 料 117,300円（年額234,600円を入学時と10月で分納）

学生会入会金 3,000円 学生会会費 6,000円（年額）

後 援 会 費 23,000円

日本スポーツ振興センター災害給付制度保護者負担金 1,520円（年額）

熊本県PTA災害見舞金安全会掛金 800円（年額）

教科書・実習服等購入費 約35,000円

入寮の場合

寄宿料 800円（月額）半期分を4月、10月に納付

食費 28,500円（月額）給食日数により年度末に精算します。

寮費 5,400円（月額）半期分を4月、10月に納付

9. 課外活動

本校では、学生会を中心に体育系、文化系、技術系のサークルがあり、高専体育大会、ロボコン、デザインコンテスト及びプログラミングコンテスト等各種大会への参加をはじめとして活発な課外活動が行われています。

体育系クラブ	陸上部、ソフトテニス部、剣道部、水泳部、ラグビー部、野球部、バスケットボール部、卓球部、サッカー部、柔道部、バレーボール部、少林寺拳法部、弓道部、ハンドボール部、テニス部、バドミントン部、空手道部、フットサル部
文科系クラブ	英語研究部、音楽研究部、吹奏楽部、落語研究部、茶道部、写真部、料理研究部、園芸部、すうげん、詞創、VIC
技術系クラブ	ロボコン部、ラジコン研究部、情報システム研究部、科学部、the plastic arts、Traffic Design、CAPPA 団
クラブ活動に準じるチーム	駅伝チーム、ロボコンチーム、プロコンチーム

10. 本校の施設

ほぼ300m×400mの広大な敷地に、共通教育科・管理棟（教室、多目的実験室（化学・物理実験室）、事務室）、専門科目棟（教室、実験実習室、情報処理センター）、専攻科棟、実習棟、実験棟、共同教育研究棟、図書館、ICT活用学習支援センター、体育館（2棟）、武道場等の教育・研究施設のほか、学寮、学生教職員食堂、福利施設（保健室、文化系サークル室、売店）などがあります。これらの建物は、400mトラック、サッカー・ラグビー場、硬式野球場、テニスコート（6面）、50mプール、ハンドボールコート（2面）、柔道場、弓道場、ゴルフ練習場等の教育・課外活動施設とともに配置よく並び、本校キャンパスを形造っています。

11. 卒業後の進路

(1) 就職

高専卒業生に対して産業界は大学卒とほぼ同じレベルの評価をしています。就職率は良好な状態を維持しており、就職希望者のほとんどが卒業までに就職を決定しています。

・機械電気工学科

機械一般、電気・電子、食品・化学、ソフト・サービス、エンジニアリング、建設・設備などの分野で活躍しています。勤務先所在地は、関東地方がもっとも多く、県内はもとより九州管内や関西地方、中部地方など全国に広がっています。

・情報電子工学科

電気・電子、ソフトウェア、技術サービス、機械製品など多岐にわたる分野で活躍しています。勤務先所在地は、熊本県をはじめとする九州管内はもとより、関東地方、関西地方など全国に及んでいます。

・土木建築工学科

総合建設業、建設関連業、設計・コンサルタント、異業種の建設部門、官公庁など多岐にわたる分野で活躍しています。勤務先所在地は、関東地方がもっとも多く、県内はもとより九州管内や関西地方など全国に広がっています。

・生物工学科

医薬、化学、食品をはじめとする多方面の工業分野で活躍しています。勤務先所在地は、関東地方がもっとも多く、県内はもとより九州管内や関西地方、中国・四国地方など全国に広がっています。

(2) 進学

卒業生の約3分の1はさらに上の学校へ進学しています。その場合二つの選択肢があります。一つは高専の専攻科に進学することです。専攻科の修業年限は2年間ですが、一定の条件を満たして修了し、学位授与試験を受験して「学士」の学位を取得することができます。この専攻科のメリットは入学金が大学の約3分の1、授業料が半分以下であり、金銭的負担が少ない点です。専攻科修了後、さらに勉学を続けたい者は、大学院へ進学することができます。

本校八代キャンパスでは、生産システム工学専攻があり、本科4年から専攻科2年までの4年間を対象とした“熊本高専「生産システム工学」教育プログラム”を設定しています。本校は平成17年度に日本技術者教育認定機構（JABEE）の認定を受けました。JABEEによって認定を受けた教育プログラムの修了生は技術士1次試験免除となり、修習技術者の国家資格が得られます。

もう一つの選択肢は、大学に編入学することです。多くの大学が高専卒業生を大学3年次への編入学生として受け入れています。

12. 教育課程（平成23年度現在）

共通教育科目（各学科共通）

区分1	区分2	授 業 科 目	単位数	1年	2年	3年	4年	5年	備 考
必 修 科 目	基 礎	国 語 I	2	2					
		国 語 II	2		2				
		国 語 III	2			2			
		地 理・歴 史 I	1	1					
		地 理・歴 史 II	2		2				
		政 治・経 済 I	1		1				
		政 治・経 済 II	1			1			
		倫 理・社 会	2			2			
		数 学 I	6	6					
		数 学 II	6		6				
		数 学 III	4			4			
		多変数の微分積分学	1				1		前期開講
		行列式と行列の応用	1				1		後期開講
		化 学	3	3					
	物 理 I	3		3					
	物 理 II	2			2				
	総 合 理 科 I	1	1						
	総 合 理 科 II	1		1					
	総 合 理 科 III	1			1				
	保 健・体 育 I	3	3						
	保 健・体 育 II	2		2					
	保 健・体 育 III	2			2				
	英 語 I	5	5						
	英 語 II	4		4					
	英 語 III	5			5				
	英 語 IV	2				2			
	英 会 話 I	1	1						
	英 会 話 II	1		1					
開 設 単 位	67	22	22	19	4				
履 修 可 能 単 位	67	22	22	19	4				
選 択 科 目	応 用 科 目	近 代 と 文 学	1				1		前期・後期に2回開講
		国 語 表 現	1				1		前期・後期に2回開講
		日 本 現 代 文 学	1					1	前期・後期に2回開講
		古 典 文 学	1					1	前期・後期に2回開講
		法 学	1				1		前期・後期に2回開講
		経 済 学	1				1		前期・後期に2回開講
		哲 学	1					1	前期・後期に2回開講
		現 代 社 会 論 I	2				2		
		現 代 社 会 論 II	1					1	前期・後期に2回開講
		東アジアの中の日本	2					2	
		ス ポ ー ツ 科 学	2				2		
		健 康 科 学	2					2	
		工 芸	1				1		今年度開講せず
		英 語 V	2					2	
	開 設 単 位 小 計	19				9	10		
	履 修 可 能 単 位	8				4	4		
	特 別 選 択 科 目	数学基礎定着セミナーa	1	1					
		数学基礎定着セミナーb	1	1					
		英語基礎定着セミナー	1	1					
		情報基礎定着セミナー	1	1					
数学応用力養成セミナー		1			1				
英語応用力養成セミナー		1			1				
進路支援セミナー（数学）		1				1			
進路支援セミナー（英語）		1				1			
進路支援セミナー（小論文）		1				1			
一 般 特 別 セ ミ ナ ー		4							
開 設 単 位 小 計	9	3	2	2	2	0	*一般特別セミナーを除く		
開 設 単 位	28	3	2	2	11	10	*一般特別セミナーを除く		
開 設 単 位 合 計	96	25	24	21	15	10	*一般特別セミナーを除く		
基 礎 履 修 単 位	75	22	22	19	8	4	*特別選択を除く履修可能単位		
履 修 可 能 単 位 (基礎履修+特別選択)	83	24	24	20	10	4	*一般特別セミナーを除く		

*特別選択科目は、一般特別セミナーを除き最大8単位まで修得可。履修方法の詳細はガイダンス時に確認すること。

機械電気工学科

区分1	区分2	授 業 科 目	単位数	1年	2年	3年	4年	5年	備 考	
必 修 科 目	基 盤 科 目	工 学 入 門	2	2						
		工 学 の 基 礎	2		2					
		情 報 基 礎	4	2	2					
		製 図 基 礎	4	2	2					
		も の つ くり 実 習	8	4	4					
	(開 設 単 位 小 計)		20	10	10					
	専 門 基 礎 科 目	応 用 数 学	2					2		
		数 理 解 析	2						2	
		工 業 力 学	2			2				
		応 用 物 理	2						2	
		応 用 情 報 処 理	4			2	2			
		技 術 英 語	2						2	
		機 械 工 作 学	2				2			
		マ テ リ ア ル 学	2				2			
		材 料 力 学	4			2	2			
		熱 力 学	2				2			
		流 体 力 学	2				2			
		熱 流 体 現 象 論	2						2	
		機 械 力 学	2				2			
制 御 工 学		2						2		
電 気 電 子 回 路	4			2	2					
電 磁 気 工 学	2						2			
(開 設 単 位 小 計)		38			8	18	12			
総 合 科 目	設 計 製 図	4			2	2				
	総 合 設 計	3						3		
	機 械 電 気 総 合 実 習	4			2	2				
	機 械 電 気 工 学 実 験	4			2	2				
	課 題 研 究	6						6		
(開 設 単 位 小 計)		21			6	6	9			
必 修 単 位 合 計		79	10	10	14	24	21			
選 択 科 目	専 門 応 用 科 目	生 産 シ ス テ ム	1					1		
		精 密 加 工	1					1		
		構 造 計 算 力 学	1					1		
		塑 性 加 工	1					1		
		熱 機 関	1					1		
		流 体 機 械	1					1		
		シ ー ケ ン ス 制 御	1					1		
		コ ン ピ ュ ー タ 計 測	1					1		
		電 気 電 子 デ バ イ ス	1					1		
		回 路 設 計	1					1		
		ロ ボ ッ ト 工 学	1					1		
		コ ン ピ ュ ー タ ネット ワ ー ク	1					1		
		バ イ オ メ カ ニ ッ ク ス	1					1		
		リ サ イ ク ル 工 学	1					1		
	(開 設 単 位 小 計)		14					14		
	特 別 選 択 科 目	イ ン タ ー ン シ ッ プ	1					1	4年か5年で修得可	
		エ ン ジ ニ ア 総 合 学 習	1			1			H17まで専門基礎セミナーとして開講	
		進 路 セ ミ ナ ー	1				1		H17まで専門基礎セミナーとして開講	
		複 合 工 学 セ ミ ナ ー I	1					1	4年か5年で修得可、H18までは創造セ ミナーとして開講	
複 合 工 学 セ ミ ナ ー II		1					1	4年か5年で修得可、H18までは創造セ ミナーとして開講		
専 門 基 礎 セ ミ ナ ー		3								
創 造 セ ミ ナ ー		5								
専 門 特 別 セ ミ ナ ー	3									
(開 設 単 位 小 計)		16	1	2	3	5	5	*各学年は参考単位数		
選 択 単 位 合 計		30	1	2	3	5	19	*各学年は参考単位数		
開 設 単 位 合 計		109	11	12	17	29	40	*特別選択を含む		
基 礎 履 修 単 位 数		86	10	10	14	24	28	*特別選択を除く履修可能単位数		
参 考 履 修 可 能 単 位 数		102	11	12	17	29	33	*基礎履修単位+特別選択単位		

情報電子工学科

区分1	区分2	授 業 科 目	単位数	1年	2年	3年	4年	5年	備 考
必 修 科 目	基 盤 科 目	工 学 入 門	2	2					
		情 報 基 礎	2	2					
		基 礎 電 気 工 学	2	2					
		電 気 工 学	2		2				
		情 報 工 学	2		2				
		情 報 工 学 基 礎 演 習	2		2				
		プ ロ グ ラ ミ ン グ 基 礎	2			2			
		電 子 工 学	2			2			
		情 報 電 子 工 学 基 礎 実 験 I	4	4					
		情 報 電 子 工 学 基 礎 実 験 II	4		4				
	情 報 電 子 工 学 基 礎 実 験 III	4			4				
	専 門 基 礎 科 目	情 報 数 理	2					2	
		応 用 数 学	2						2
		応 用 物 理	2				2		
		電 気 回 路	2			2			
		回 路 網 学	2				2		
		電 気 電 子 計 測	2				2		
		電 気 磁 気 学	2				2		
		コ ン ピ ュ ー タ 工 学 基 礎	2			2			
		情 報 通 信 工 学 基 礎	2			2			
		コ ン ピ ュ ー タ シ ス テ ム	2				2		
		コ ン ピ ュ ー タ 言 語	2				2		
		プ ロ グ ラ ミ ン グ	2				2		
		ネ ッ ト ワ ー ク	2					2	
		情 報 理 論	2					2	
	総 合 科 目	情 報 電 子 工 学 実 験	4				4		
		課 題 研 究	6						6
	必 修	単 位 合 計	72	10	10	14	24	14	
選 択 科 目	情 報 工 学 系	ソ フ ト ウ ェ ア 工 学	2					2	情 報 コース必修
		デ ー タ 構 造 と ア ル ゴ リ ズ ム	2				2		
		コ ン パ イ ラ	2				2		
		デ ー タ ベ ー ス	2				2		
		オ ペ レ ー テ ィ ン グ シ ス テ ム	2				2		
	電 子 工 学 系	技 術 英 語 I	1					1	電 子 コース必修
		計 算 機 回 路	2				2		
		集 積 回 路	2				2		
		電 子 デ バ イ ス	2				2		
		電 子 応 用 機 器	2				2		
		信 号 処 理	2				2		
	複 合 系	技 術 英 語 E	1					1	複 合 系 選 択 科 目
		シ ス テ ム 工 学	1				1		
		通 信 工 学	1				1		
		セ ン サ 工 学	1				1		
		情 報 認 識	1				1		
		プ ロ グ ラ ミ ン グ 言 語	1				1		
	開 設 単 位 小 計	28					28		
	特 別 選 択 科 目	イ ン タ ー ナ シ ッ プ	1				1	4年か5年のいずれかで修得可	
		エ ン ジ ニ ア 総 合 学 習	1		1			H17まで専門基礎セミナーとして開講	
		進 路 セ ミ ナ ー	1			1		H17まで専門基礎セミナーとして開講	
		複 合 工 学 セ ミ ナ ー I	1				1	H18まで専門応用セミナーとして開講	
		複 合 工 学 セ ミ ナ ー II	1				1	H18まで専門応用セミナーとして開講	
		専 門 基 礎 セ ミ ナ ー	4	いずれの学年でも修得可				専門応用セミナーから科目名変更	
		創 造 セ ミ ナ ー	5						
	開 設 単 位 小 計	16	1	3	4	5	3	*各学年は参考単位	
	選 択 単 位 合 計	44	1	3	4	5	31	*各学年は参考単位	
	開 設 単 位 合 計	116	11	13	18	29	45	*特別選択を含む	
基 礎 履 修 単 位	86	10	10	14	24	28	*特別選択を除く履修可能単位数		
(参 考 履 修 可 能 単 位)	102	11	13	18	29	31	(基礎履修単位+特別選択単位)		

* 5年次の科目については、情報工学系または、電子工学系を選択する。複合系科目については2科目以上選択すること。

* 情報工学系科目・電子工学系科目は並列開講、複合系選択科目は2科目を組み合わせで並列開講。

土木建築工学科

区分1	区分2	授業科目	単位数	1年	2年	3年	4年	5年	備考	
必修科目	基盤科目	工学入門	2	2						
		創造演習	4	2	2					
		情報処	4	2	2					
	専門基礎科目	基礎製図	2	2						
		図学	2	2						
		建設材料	1		1					
		環境生物学	1		1					
		設計製図	4			2				
		測量学及び同実習	4		2	2				
		建築一般構造	2			2				
		土質力学	2			2				
		地球物理入門	1			1				
		構造力学Ⅰ	5			2	2	1		
		応用数学	2				2			
		応用物理	2				2			
		鋼構造工学Ⅰ	2				1	1		
		鉄筋コンクリート工学Ⅰ	2				2			
	地域および都市計画	1				1				
	技術英語	2					2			
	地球環境工学	2					2			
総合科目	工学演習	2			2					
	工学実験	6			2	2	2			
	応用情報処理	2				2				
必修	単位合計	63	10	10	15	14	14			
選択科目	土木系	土木計画学	2				2		土木コース必修科目	
		交通工学	1					1		
		水理学	3				2	1		
		環境衛生工学	2				2			
		河川工学	1					1		
		海岸工学	1					1		
		地盤工学	2				2			
		土木施工学	2					2		
		橋工学	2					2		
		工業火薬学	1					1		
	土木設計演習	4				2	2			
	(土木系開設単位計)	21				10	11			
	建築系	建築計画	3				2	1	建築コース必修科目	
		建築環境工学	2				2			
		西洋建築史	1				1			
		日本建築史	1					1		
		建築構造設計	3				1	2		
		建築施工法	2					2		
		建築設備	2					2		
		建築設計演習	7				4	3		
	(建築系開設単位計)	19				10	11			
	共通	応用数学演習Ⅰ	1						1	
		応用数学演習Ⅱ	1						1	
		都市デザイン論	1						1	
		構造力学Ⅱ	1						1	
		鋼構造工学Ⅱ	1						1	
		鉄筋コンクリート工学Ⅱ	1						1	
		防災工学Ⅰ	1						1	
		防災工学Ⅱ	1						1	
		地形情報処理	1						1	
リモートセンシング		1						1		
景観工学		1						1		
建築法規		1						1		
(共通開設単位計)	12							12		
(専門応用科目開設単位合計)	54				20	34				
特別選択科目	インターンシップ	1					1		4年か5年のいずれかで修得可	
	エンジニア総合学習	1			1				H17まで専門基礎セミナーとして開講	
	進路セミナー	1				1			H17まで専門基礎セミナーとして開講	
	複合工学セミナーⅠ	1					1		H18まで自由創造セミナーとして開講	
	複合工学セミナーⅡ	1					1		H18まで自由創造セミナーとして開講	
	専門基礎セミナー	6							いずれの学年でも修得可	
	創造セミナー	5							いずれの学年でも修得可	
特別選択科目開設単位計	16	1	2	4	6	3		*各学年は参考単位		
選択科目開設単位計	70	1	2	4	26	37		*各学年は参考単位		
開設単位数合計	133	11	12	19	40	51		*特別選択を含む		
基礎修得可能単位合計	90	10	10	15	24	31		*特別選択を除く履修可能単位数		
(参考履修可能単位)	106	11	12	19	30	34		(基礎履修単位+特別選択単位)		

* 4年次、5年次は土木コースは土木系を、建築コースは建築系を選択する。

生物工学科

区分1	区分2	授 業 科 目	単位数	1年	2年	3年	4年	5年	備 考	
必修科目	基盤科目	工 学 入 門	2	2						
		生物工学基礎実習	4	4						
		生物工学実習	2		2					
		生物工学演習	1		1					
		生物基礎 1	2	2						
		生物基礎 2	2		2					
		化学基礎	2		2					
		情報基礎 1	2	2						
		情報基礎 2	2		2					
	(開設単位小計)	19	10	9						
	専門基礎科目	共通	機械工学基礎	2			2			
			情報処理	2				2		
			技術英語	2				2		
			生化学 1	1		1				
			生化学 2	2			2			
			応用物理	2					2	
			環境科学	2					2	
			応用数学	2					2	
		生物系	生物化学工学	2					2	
			安全工学	1					1	
			生命倫理学	1					1	
			基礎生物科学	2			2			
			微生物学	2			2			
			タンパク質化学	1				1		
			分子生物学	2				2		
発酵培養工学			2				2			
化学系	細胞生物化学	2					2			
	バイオ基礎化学	2			2					
	有機化学	2				2				
	分析化学	2			1	1				
	基礎物理化学	2				2				
	化学工学	2				2				
(開設単位小計)	42		1	11	16	14				
総合科目	化学系基礎実験	2			2					
	生物系基礎実験	2			2					
	生物化学基礎実験	4				4				
	創造実習	4				4				
	生物工学セミナー	4					4			
	課題研究	6					6			
(開設単位小計)	22			4	8	10				
必修	単 位 合 計	83	10	10	15	24	24			
選択科目	専門応用科目	食 品 学	1					1		
		機器分析基礎	1					1		
		生物工学関連法規	1					1		
		医薬品工学	1					1		
		プレゼンテーション技法	1					1		
		材料化学	1					1		
	(開設単位小計)	6					6			
	特別選択目	インターンシップ	1				1		4年か5年のいずれかで修得可	
		エンジニア総合学習	1			1			H17まで専門基礎セミナーとして開講	
		進路セミナー	1				1		H17まで専門基礎セミナーとして開講	
		複合工学セミナーⅠ	1				1		H18まで創造セミナーとして開講	
		複合工学セミナーⅡ	1				1		H18まで創造セミナーとして開講	
		専門基礎セミナー	3							
		創造セミナー	6							
専門特別セミナー	2									
(開設単位小計)	16	2	2	3	5	4		*各学年は参考単位		
選択	単 位 合 計	22	2	2	3	5	10		*各学年は参考単位	
開設	単 位 合 計	105	12	12	18	29	34		*特別選択を含む	
基礎履修可能単位		87	10	10	15	24	28		*特別選択を除く履修可能単位	
(参考履修可能単位)		103	12	12	18	29	32		(基礎履修単位+特別選択単位)	

13. 日本技術者教育認定機構(JABEE)への取り組み JABEE 対応教育プログラム「生産システム工学専攻」の概要

1. 教育プログラムの目的

生産システム工学専攻は、「変化する社会に柔軟に対応することのできる自立した実践的技術者の育成 および 科学技術による地域社会への貢献を使命とする」という理念のもとに、「産業構造の複雑化・多様化に対応し、モノづくりの現場で“大局着眼、小局着手”を実行できる自立した実践的技術者を育成することを目標とする」という教育目標を掲げています。

この理念と教育目標に従い、「狭い専門分野に留まらず工学の基礎となる幅広い知識と技術を確実に身に付け、工学の諸分野に発生する諸問題を発見して解決できる能力を備えた技術者、豊かな人間性と規律を持つ技術者、そして柔軟さと好奇心をもって問題解決に積極的に向き合う技術者」を育成することを目的として、本科4年から専攻科2年までの4年間を対象とした“「生産システム工学」教育プログラム”（以下、教育プログラム）を設定しています。

この教育プログラムは、日本技術者教育認定機構（JABEE：Japan Accreditation Board for Engineering Education）の「工学（融合複合・新領域）分野」基準に準拠したカリキュラムを設定しています。本校は平成17年度にJABEEの認定を受けました。JABEEによって認定を受けた教育プログラムの修了生は技術士1次試験免除となり、修習技術者の国家資格が得られます。本校の教育プログラムの修了生は「応用理学」分野での修習技術者の資格を取得することができます。

2. 教育プログラムの構成

教育プログラムは、本校八代キャンパスを構成する4学科（機械電気工学科、情報電子工学科、土木建築工学科および生物工学科）と、生産システム工学専攻（機械電気工学科と情報電子工学科を母体とした機械システムコース・情報システムコース、土木建築工学科を母体とした建設システムコースおよび生物工学科を母体とした生物システムコース）の、本科4年次から専攻科2年次までの4年間から構成されています。

3. 教育プログラムの学習・教育目標

教育プログラムは、次の2つを教育の柱としています。

- (1) さまざまな複合的技術要素を必要とするモノづくりの現場で、一人一人の最も得意とする専門工学分野の基本的素養を具体的なデザインや生産手法に活かすことのできるエンジニア教育
- (2) 地域の社会や文化への理解と参加意欲をもち、地球的視点で物事を捉えられるエンジニア教育

このため教育プログラムでは、以下の(A)－(G)の7項目を「学習・教育目標」としています。

7つの学習・教育目標は、それぞれ具体的なサブ項目に分かれています。

(A) 知徳体の調和した人間性を身につけた技術者

A-1：幅広い知識を身につけ、地球的視点から問題を捉えることができる

A-2：異文化を理解し、価値観の多様性を認識することができる

(B) 技術の基礎となる技能と知識を身につけた技術者

B-1：工学の基礎となる数学・自然科学の基礎知識を身につける

B-2：合理的な計測技術を選択し、データを収集できる

B-3：情報を分析して評価し、適切な数理的処理を行ってわかりやすく提示できる

(C) 複眼的な視点から問題を解決できる技術者

C-1：多様な専門分野の関連性を理解し、多面的に捉えることができる

C-2：基礎知識を活用して工学的問題を理解し、説明できる

- C-3：基礎的な実験技術を用いて、実験を企画・実行して結果の分析・評価ができる
- C-4：得意とする分野の知識、技術と情報を駆使して、社会の要求に応じて問題解決の方法を企画、デザインすることができる
- (D) 技術のあり方に対する倫理観を身につけた技術者
 - D-1：科学技術に関する倫理的問題について理解し、指摘することができる
 - D-2：実務上の問題を理解し、技術的・倫理的知識を適用することができる
- (E) 知的探求心を持ち、主体的に問題に取り組むことができる技術者
 - E-1：幅広い分野に知的好奇心と探求心を持って取り組むことができる
 - E-2：研究や学習状況を把握・記録して自主的・継続的に学習できる
- (F) 基本的なコミュニケーション能力を身につけた技術者
 - F-1：日本語による適切な文章表現及び口頭の意味伝達ができる
 - F-2：英語で書かれた技術文書の概要・要旨がつかめる
 - F-3：研究の英文概要を書くことができ、発表資料などに英語を用いることができる
- (G) 社会性・協調性を身につけた技術者
 - G-1：社会参加への意欲と関心をもつことができる
 - G-2：グループでの活動に参加し、その中で協調して役割を果たせる

4. 教育プログラムの履修対象者

教育プログラムの履修対象期間は、本科第4学年から専攻科第2学年までの4年間とし、履修対象者は当該期間の在籍学生です。従って、本科4年と5年の2年間は本教育プログラムの前半課程、専攻科の2年間は後半課程となります。また、本科4年への進級または編入学は教育プログラムへの入学となります。

本科から専攻科へ進学するためには専攻科入学試験を受験しなければなりません。また、本科5年を卒業後そのまま専攻科に進学する場合や、本科を卒業して一旦企業などに就職し、その後社会人選抜で専攻科に入学する場合など学生の進路は多様です。そこで教育プログラムでは、本校専攻科入学試験に合格し、専攻科に入学した者を教育プログラムの「履修生」として最終登録します。履修生は、専攻科修了までに学士の学位の取得を除く教育プログラムの修了要件を全て満たさなければなりません。

5. 教育プログラムの修了要件

教育プログラムの修了要件は、「熊本高等専門学校「生産システム工学」教育プログラム履修規定」により、次に様に定められています。

- (1) 学士の学位を取得すること
- (2) 教育プログラムの単位を124単位以上修得すること
- (3) 口頭で自分の研究内容を発表できること、学外での発表を目指すこと。
- (4) TOEIC (IPテストを含む) を受験し、400点程度を取得すること、あるいはそれに相当する実力を身につけること
- (5) インターンシップを経験し、実践的な課題解決のための基礎力を身につけること
- (6) 数学・自然科学および数理的処理に関する総合試験に合格すること
- (7) 教育プログラムにおける学習保証時間が1,800時間（実時間）以上であること
- (8) 数学・自然科学・情報技術科目群のうち、「応用物理」、「応用数学」、「物理化学」、「線形代数学」、「データ解析」を含む7科目以上を修得していること
- (9) 基礎工学の次の5科目群について各科目群から少なくとも1科目を含む6科目以上修得していること。
 - a) 設計システム系科目群、 b) 情報・論理系科目群、 c) 材料・バイオ系科目群
 - d) 力学系科目群、 e) 社会技術系科目群

(10) 専門工学の次の4科目群のうち、達成度評価基準を満たして科目を修得していること。

- a) 専門工学の知識と能力科目群
- b) いくつかの工学の基礎的な知識・技術を駆使して実験を計画・遂行し、データを正確に解析し、工学的に考察し、かつ説明・説得する能力科目群
- c) 工学の基礎的な知識・技術を統合し、創造性を発揮して課題を探究し、組み立て、解決する能力科目群
- d) 技術者が経験する実務上の問題点と課題を理解し、適切に対応する基礎的な能力科目群

上記の修了要件のうち、要件(4)の「TOEIC (IPテストを含む)を受験し、400点程度を取得すること、あるいはそれに相当する実力を身につけること」は、本科4年から専攻科2年までの教育プログラム履修対象期間内に「TOEIC 試験成績375点以上、若しくは実用英語技能検定試験準2級合格」を意味します。

要件(5)のインターンシップは、履修対象期間内に移動日や休日を除いて延べ14日以上経験することが必要です。

要件(6)の「総合試験」は、専攻科在籍中に受験して合格することが必要です。

要件(7)の学習保証時間には、250時間以上の人文・社会科学（語学を含む）、250時間以上の数学・自然科学・情報技術及び900時間以上の基礎工学を含む専門工学の学習保証時間を含まなければなりません。

要件(9)と(10)の科目群の詳細については、関連資料の「生産システム工学」教育プログラム履修の手引き”または専攻科学生便覧を参照して下さい。なお、これらの科目群の各科目の合格基準は60点です。

6. 専攻科修了要件と教育プログラム修了要件

専攻科の修了には、教育プログラムの修了要件のうち、「(1)学士の学位の取得」を除く全ての要件を満たすことが必要です。

7. 他の高等教育機関で取得した単位および編入学生が編入前に取得した単位の認定

本校教育プログラムでは、次のような基準で他の教育機関で取得した単位を認定しています。なお、いずれの場合でも、成績証明書やシラバス等により履修科目の内容を個別に審査します。また、学習保証時間を証明することが出来る書類の提出を別途求めます。

- ① 教育プログラム履修対象期間（本科4、5年及び専攻科1、2年）に相当する期間中に他大学などで取得した単位については、原則として、本校のプログラム単位としては認めていません。しかし、実施時数の証明や評価基準が公開されているなどの状況を考慮して、個々のケースを審議して教育プログラムの単位として認める場合もあります。
- ② 工業高校等（農業高校を含む）及び普通高校から本科4年次に編入学した場合、編入前に取得した単位は本校の教育プログラムの単位としては認めていません。
- ③ 専攻科入学資格を満たした本校以外の出身者で本校専攻科に入学した（教育プログラムに途中編入してきた）場合、本校専攻科入学前（教育プログラム編入学前）の出身校で取得した単位については、学習保証時間の証明やシラバスによる評価基準を基に審議して判定します。

8. 関連資料

本校教育プログラムの詳細については、「生産システム工学」教育プログラム履修の手引き” (<http://www.kumamoto-nct.ac.jp/shien/handbook.html>) を参照して下さい。

編 入 学 志 願 票

受験番号	※	志望学科名	工学科			
*生物工学科を志望する者のみ選択		(1)工業化学1、工業化学2	*生物工学科志望者のみ必ず(1),(2)いずれかの科目を選択し、記入欄に○を記入すること			
		(2)化学I、化学II及び生物I、生物II				
志願者	ふりがな	氏名	男・女	生年月日	昭和 平成	年 月 日
現住所	〒					TEL () 局 番
在籍学校 又は 卒業学校	〒 高等学校 所在地					TEL () 局 番
		科 TEL () 局 番				
		平成 年 月 日 卒業(修了) ・ 卒業(修了) 見込				
卒業後の履歴	自 昭和・平成		年 月 日			
	至 昭和・平成		年 月 日			
	自 昭和・平成		年 月 日			
	至 昭和・平成		年 月 日			
判定結果通知書等受領場所	〒					TEL () 局 番

(志願票の裏面に、「振込金受取書」を添付すること。)

<切り離さないこと>

写 真 票

平成24年度 編 入 学

受験番号	※
志望学科名	工学科
*生物工学科志望者のみ必ず(1)(2)いずれかの科目を選択し、記入欄に○を記入すること	(1) 工業化学1、工業化学2 (2) 化学I、化学II及び生物I、生物II
ふりがな	
氏名	
生年月日	昭和 平成 年 月 日

写 真

タテ 40mm
ヨコ 30mm

正面・脱帽・上半身
で3ヶ月以内に撮影
したものを貼付

熊本高等専門学校八代キャンパス

受 験 票

平成24年度 編 入 学

受験番号	※
志望学科名	工学科
*生物工学科志望者のみ必ず(1)(2)いずれかの科目を選択し、記入欄に○を記入すること	(1) 工業化学1、工業化学2 (2) 化学I、化学II及び生物I、生物II
ふりがな	
氏名	
生年月日	昭和 平成 年 月 日

学力検査・面接日時

7月25日(月)
 数学 9:30~10:30
 専門 10:50~12:30
 英語 13:15~14:15
 面接 14:30~

熊本高等専門学校八代キャンパス

記入上の注意

- ※印の欄は、記入しないこと。その他の欄は志願者が漏れなく記入すること。
- 正確かつ明瞭に楷書で黒のボールペン書きすること。
- 記載事項を訂正する場合は、訂正箇所を二本線で抹消し、押印の上、訂正事項を記入すること。
- 志望学科名は、機械電気工学科、土木建築工学科又は生物工学科を記入すること。
- 判定結果通知書等受領場所は、本受験に関する連絡が確実に受領できる住所を記入すること。

振込金受取書

貼付欄

振込金受取書・振込受付書
(兼振込手数料受取書)
(学校提出用)

平成	年	月	日	金額	¥	1	6	5	0	0
先方銀行 肥後銀行 八代支店										
預金種目		普通		口座番号		1862865				
お受取人		(氏名) 独立行政法人国立高等専門学校機構 熊本高等専門学校 出納命令役 事務部長 川崎信之								
ご依頼人		(出願者氏名) 様								
備考		手数料								
振込金		現金・当座		小切手等						
受入区分		預金払戻請求書・口座振替								

(銀行で切り離して下さい)

<取扱店> _____ 銀行 _____ 店

振込金受取書・振込受付書
(兼振込手数料受取書)
(本人保存)

平成	年	月	日	金額	¥	1	6	5	0	0
先方銀行 肥後銀行 八代支店										
預金種目		普通		口座番号		1862865				
お受取人		(氏名) 独立行政法人国立高等専門学校機構 熊本高等専門学校 出納命令役 事務部長 川崎信之								
ご依頼人		(出願者氏名) 様								
備考		手数料								
振込金		現金・当座		小切手等						
受入区分		預金払戻請求書・口座振替								

(銀行で切り離して下さい)

<取扱店> _____ 銀行 _____ 店

電信振込依頼書

ご依頼日	平成	年	月	日	電信級	手数料					
先方銀行	肥後銀行 八代支店				金額	¥	1	6	5	0	0
預金種目	普通		口座番号		1862865						
受取人	(フリガナ) 独立行政法人国立高等専門学校機構 熊本高等専門学校 出納命令役 事務部長 川崎信之										
ご依頼人	(出願者氏名) 様										
備考		手数料									
振込金		現金・当座		小切手等							
受入区分		預金払戻請求書・口座振替									
普通預金・当座預金											

お問い合わせ先: 独立行政法人国立高等専門学校機構
 熊本高等専門学校八代キャンパス管理課財務係
 電話 (0965) 53-1228

・本指定用紙以外の使用はできません。
 ・自動振込機での振込はできません。

あて名票

受験票郵送用

(志願者の住所・氏名等)

事務連絡用

(志願者の住所・氏名等)

合格

(志願者の住所・氏名等)

通知用

(高等学校の所在地・学校名等)

速達

350円切手をはりつけてください。

(氏名) (住所)

様方

※

受験票在中

(氏名) (住所)

様方

※

(氏名) (住所)

様方

※

(氏名) (住所)

高等学校長殿

※

【注意】 ・ 現住所、郵便番号、氏名等を記入してください。アパート、団地等の場合は、アパート名、棟番号等も記入してください。
 ・ ※印欄は記入しないでください。